来季に向け畑改良

苦土石灰や米ぬか散布

紀北町 ヤツガシラ、一部発芽

シート回りを整備するメンバーら＝紀北町島原で

第3話 農作物に優しい土壌をつくる

いこらい！モリ農ヒト

【北牟婁郡】春本番の暖かさを迎え、紀北町島原の農家らは耕作の準備を進めている。協力隊らの畑も例外ではない。ヤツガシラの種芋を植えた一画を除き、休耕田の土壌改良に励んでいる。

三月下旬、来季に向けた土づくりに本格的に着手した。休耕田は水はけの悪い粘土質。収量や品質を上げようと、土壌の酸度を調整する「苦土石灰」や鶏ふん、米ぬかなどを一面に散布した。

耕運機で整地された土に触れると、一週間前より滑らかで細かい粒が混ざっていた。様子を見に来た島原区長で農家、上野守以さん(七七)も「大きい土塊はあるが、良くできている」と評する。

四月から協力者の一人として同町島勝浦の「テンテン」こと小島有五さん(四〇)が加わった。町内で観光施設などを運営する移住者。農に携わることで「地産地消のヒントになれば」と期待する。

三日、記者らは種芋を掘り起こし、発芽具合を確認。一つの種芋から一センチほどの芽が複数出ていた。最高気温が二十度で安定する今週。シートの保温効果も相まって一気に発芽が進みそうだ。

◆来週15日は休載

伊勢志摩アンバサダー
握手をする相川さん（

神宮に歌奉納 などでゆかり

「国内

には市内の「伊勢神宮奉納全国花火大会」に楽曲を提供。また、内宮、外宮に歌を奉納するなど、この地域にゆかりがある。

任命式が六日、伊勢市役所で開かれ、相川さんが、同機構会長を務める

の関係者や同署員ら約七十人が参加。濱井良太署長は「管内の交通事故件数は減少傾向にあるが、死亡事故は発生している。事故のない安全安心な地域社会の実現に向け尽力いただきたい」とあいさつした。続いて、白バ

ケ所浦の町民文化会館で十三日、特産品販売やステージイベントなどが楽しめる「南伊勢町桜まつり」が開かれる。午前十時―午後四時。

出演や出店する場をつくり地域活性化につなげようと、イベントが好きな有志らでつくる地域イベント制作委員会「Nana Project」が主催。

当日は特産品を販売するブース、唐揚げやポテト、和菓子などを販売するキッチンカーが並ぶ。

太鼓や南勢中
が演奏を披
ダブルダッチ
やキッズチア
ム「TEAM
も出演する。

牛肉や美容
もちゃなどが
ゴ大会もあり
ンゴカード一
販売する。ロ
グラミング体
ン玉体験もあ
問い合わせ
事務局＝電話
673）26

まちかど

お知らせ

◇伊勢市で「上映会」
13日午後2時から、伊勢図書館2階視聴覚室。
「RRR」（179分・
日本語吹き替
40人（当日先

おめで
おく

【死亡】◇